

【事例Ⅳ】 理科（生物基礎）学習指導案

指導者 ○○ ○○

1 日 時 令和○年○月○日（○）第○限（○○：○○～○○：○○）

2 ク ラ ス ○年○組（○○型，○○名）

3 場 所 ○○○○

4 使用教材 教科書：「改訂版 生物基礎」（数研出版）

副教材：「フォトサイエンス 生物図表」（数研出版），ポートフォリオ

5 単 元 第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持

6 単元の目標

(1) 神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達と神経系と内分泌系による調節を理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。【知識・技能】

(2) 神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節の特徴を見いだして表現すること。【思考・判断・表現】

(3) 神経系と内分泌系による調節に主体的に関わり、科学的に探究しようする態度と生命を尊重しようとする態度を養うこと。【主体的に学習に取り組む態度】

7 本時の指導と評価の計画

(1) 単元内での位置

第2編 ヒトの体内環境の維持

第3章 ヒトの体内環境の維持

1 体内での情報伝達と調節 6時間

2 体内環境の維持の仕組み 7時間（本時時間7/7時間）

(2) 重点目標と評価規準 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ヒトの体の調節について学習内容を振り返り、理解が不十分な点や疑問点を試行錯誤しながら解決しようとしている。
- ・自身の学習を振り返り、今後どのように改善していけばよいのかを表現しようとしている。

(3) 本時の展開

学習場面	学習活動	指導上の留意点	具体的評価規準と評価方法
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 本日の課題：これまでの学習を振り返って、理解が不十分な点や疑問点を調べたり、改善点を考えたりしよう。 </div>		
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習内容について、理解が不十分な点や疑問点を考え、解決に向けて調べたりまとめたりする。 ・自分の学習を振り返り、反省点を考え、それを今後どのように改善していけばよいのかを表現する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 自然現象に対する気付き </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、インターネット等を利用して様々な角度から調べられるようにする。 ・時間は25分間とし、調べたり考えたりする時間が確保できるようにする。 	学習内容を振り返り、理解が不十分な点や疑問点を試行錯誤しながら解決しようとしている。 学習を振り返り、今後どのように改善していけばよいのかを表現しようとしている。 [ポートフォリオにおける記述]
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の振り返りを行う。 		

(4) 評価基準 【主体的に学習に取り組む態度】の評価

A 理解が不十分なところや疑問点をあげ、教科書や資料集、インターネット等から調べ、自分自身の表現でまとめられているなど粘り強く学習に取り組んだ態度が見取れる。また、振り返りができ、その改善点を具体的に表現できている。

B 理解が不十分なところや疑問点をあげ、教科書や資料集、インターネット等から調べようとしているが、写しただけなど、取組に改善の余地がある。また、振り返りができているが、その改善点の表現が曖昧である。

C 自身の理解が不十分な点や疑問点を解決しようとする姿勢が不十分である。また、振り返りができていなかったり、その改善点の表現が不十分だったりする。

※Cの場合は、本人と対話をするなどして、理解が不十分な箇所や疑問点を実際に聞き、具体的にどのように解決したらよいかを教科書やノートを見ながら伝える。また、反省点や改善点についても対話をしながら本人の状況を把握し、具体的にどのような反省点や改善点があるのかを考えられるよう支援する。

8 授業者の振り返りと授業改善に向けて

時間配分がうまくできていない生徒がいたので、時間配分を意識させるような助言が必要であった。

9 御高評